

令和5年 稲作情報 臨時号

令和5年7月28日発行 宮城県亘理農業改良普及センター

電話 0223(34)1141 FAX0223(34)1143 ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>

1 管内の出穂

水稻の出穂が早まっています。亘理農業改良普及センター管内の出穂期は7月28日(平年より5日早い)です。

※出穂期は、ほ場の50%以上出穂した面積が50%に達した日。

※平年値は、過去5か年(平成30年～令和4年)の平均値。

2 今後の管理

(1) 2週間気温予報 <気象庁 7月28日>

気温の高い日が続く予報です。

日付	過去の実況							1週目の予報(日別)					2週目の予報(5日間平均)					色	
	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月	1 火	2 水	3 木	4 金 (2~ 6日)	5 土 (3~ 7日)	6 日 (4~ 8日)		7 月 (5~ 9日)
白石 (最高気温)	23.0	28.6	30.4	32.8	35.9	35.6	35.0	当日	36	35	34	33	34	34	34	34	33	33	33
白石 (最低気温)	20.6	20.2	21.7	20.6	22.4	22.4	23.0	当日	23	24	24	23	23	23	23	23	23	23	23

(2) 出穂後高温時の水管理

出穂後の高温時は、夜間に稲の消費を和らげる水管理が重要です。夜間の高温は、稲の呼吸作用を増加させ、日中に生産したデンプンが呼吸で消費され、穂に送り込む量が少なくなり乳白米(白未熟粒)発生の原因となります。

イ 昼間深水・夜間落水管理(用水が確保できる場合)

昼間はできるだけ深水、夜間は落水しましょう。用水の温度を考慮し午前9～10時頃までに入水し、午後4時頃に落水するのが望ましいです。

ロ 土壌を常に湿潤状態に保つ飽水管理(用水が確保できない場合)

用水が確保できない場合は、出穂後は飽水管理をしましょう。昼間深水・夜間落水管理ほどの効果は得られませんが、湿水管理に比べ乳白粒や胴割粒の発生が軽減されます。

※飽水管理とは・・・自然減水で田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水が溜まっている箇所が散見されるようになったら、灌水する水管理のこと。

(3) 斑点米カメムシ類防除(薬剤防除(出穂期以降))

アカスジカスミカメ等に対する薬剤防除は穂揃期とその7～10日後の2回防除が基本です。

クモヘリカメムシが多発生している地域では追加防除を実施してください。

出穂が早まっていますので、散布適期を逃さないように注意してください。



アカスジカスミカメ
体長 4.6～6mm



クモヘリカメムシ
体長 15～17mm